

いま新しき光りの中へ

伊藤千代子とその盟友たち



1905年日露戦争の始まった頃、伊藤千代子は長野県諏訪市に生まれる。
2歳で母が死去、養祖父母に育てられる。
1918年諏訪高女に入学し、土屋文明から英語、国語などを学ぶ。
1925年東京女子大に入り、社会科学研究会結成に参加。
「治安維持法公布」
1928年2月入党、3.15弾圧で検挙され、市ヶ谷刑務所へ勾留。獄中で学習を続け夫の転向と闘い同志を励ます。
1929年獄中で拘禁精神病発症(8/1)、急性肺炎で死去(9/24)。
山本宣治、右翼暴漢に刺殺(3/5)。
1933年小林多喜二、築地署虐殺(8月)。
1935年土屋文明「伊藤千代子がこと」を詠む。

おはなし

藤田廣登さん

1934年生まれ
労働者教育協会理事
治安維持法国際同盟前常任理事
【主な著書】
「時代の証言者、伊藤千代子」
「小林多喜二とその盟友たち」
「我らのやません」と東京 山本宣治の生涯」



2019年8月6日火

13時30分～16時 資料代 500円

岐阜市民会館

2階大集会室

岐阜市美江寺町2丁目6番地



劇映画
伊藤千代子の生涯

いよいよ
2020年全国公開